

2025年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年8月6日

上場会社名 株式会社ニーズウェル 上場取引所 東
 コード番号 3992 URL <https://www.needswell.com/>
 代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）松岡 元
 問合せ先責任者 （役職名）取締役執行役員 （氏名）新井 千波 TEL 03-6265-6763
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2025年9月期第3四半期の連結業績（2024年10月1日～2025年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年9月期第3四半期	7,387	3.0	934	4.3	944	2.7	628	△5.1
2024年9月期第3四半期	7,168	12.7	895	15.6	919	14.6	662	23.4

（注）包括利益 2025年9月期第3四半期 707百万円（0.4%） 2024年9月期第3四半期 704百万円（23.0%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年9月期第3四半期	16.60	—
2024年9月期第3四半期	17.29	—

（注）2024年6月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年9月期第3四半期	6,088	4,602	75.4
2024年9月期	5,653	4,230	74.6

（参考）自己資本 2025年9月期第3四半期 4,591百万円 2024年9月期 4,219百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年9月期	—	0.00	—	9.00	9.00
2025年9月期	—	0.00	—		
2025年9月期（予想）				12.00	12.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年9月期の連結業績予想（2024年10月1日～2025年9月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,600	11.0	1,400	18.1	1,400	15.9	1,043	28.8	27.53

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 8 「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年9月期3Q	40,699,200株	2024年9月期	40,699,200株
② 期末自己株式数	2025年9月期3Q	2,816,098株	2024年9月期	2,798,514株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年9月期3Q	37,886,975株	2024年9月期3Q	38,337,653株

(注) 2024年6月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果により緩やかな回復が期待される一方、米国の通商政策などの影響により先行きの不透明感が高まる状況が続いております。

こうした状況のもと、当社は、企業価値向上と持続的な成長を推し進めていくためには優秀な人材確保による開発力・信用力の強化が不可欠と考え、プライム市場が求める「流通株式時価総額100億円以上」の基準の充足を目指し、グループ全体で企業価値向上に取り組んでまいりました。

具体的には、ITアウトソーシング、マイグレーション開発、AIといった注力分野における業績拡大を図るとともに、株主還元の強化や積極的なIR活動等、多角的な施策を展開しております。

株主還元においては、2025年4月に株主優待制度を導入した後、6月には還元強化を目的として基準日を年1回から年2回へと変更し、年間の還元額を倍増させることといたしました。

業務提携においては、受注拡大や販路拡充など着実な成果が表れており、今後も各社との連携強化を推進する方針です。

2025年4月には長期的な協業体制の構築を目指し株式会社インフォディオと、5月にはAI技術の融合によるAIソリューション分野での競争力強化を目的としてHmcomm株式会社と、業務提携契約をそれぞれ締結いたしました。6月には、WalkMe株式会社と相互のビジネス拡大に向けた協業体制を発足しました。

また、アセンテック株式会社、株式会社アイティフォーとの資本業務提携を円満に終了し、株式の持ち合いを解消した上で、より柔軟かつ機動的な連携を目指し業務提携契約へと移行しました。なお、当社はこれら2社の業務提携契約移行により流通株式比率向上に努めるとともに、2025年9月期において投資有価証券売却益を特別利益として計上する予定であり、親会社株主に帰属する当期純利益の通期予想を上方修正いたしました。

また、昨年より株価600円を目標に取り組んできた「6,600作戦」では、プライム市場の維持に必要な流通株式時価総額100億円に向けた歩みを着実に進め、今後の事業拡大の基盤を構築いたしました。7月からは新たな役員体制の下、2026年9月期に株価700円の達成とプライム市場維持基準の充足を目指す企業価値向上プロジェクト「Value Creation 700」に取り組んでおります。

これらの成長戦略やEPS向上への取組みについて、機関投資家・個人投資家の皆様にご理解いただけるよう、説明会の開催やIR・PR活動を通じて積極的な情報発信に努めております。

サービスラインの状況といたしましては、「業務系システム開発」は生保・流通サービス・公共関連等の案件が進捗し前年同期比1.0%増となりました。注力分野であるマイグレーション開発は前年同期比20%増と拡大しました。入札案件への積極的な参画により、新規の受注機会が拡大しました。

「IT基盤」は全体では前年同期比7.7%減となりましたが、注力分野であるITアウトソーシングは企業のDX人員不足の需要に応える安定したサービスを提供し前年同期比13%増と拡大しました。また、ソフトウェアテストに必要なドキュメントの資産化・最適化を行いテストプロセスの実行を強力に支援する「テスト管理サービス」が貢献し、ソフトウェアテストも好調に推移しました。さらに、マイグレーション需要増加に伴い、マイグレーション後の効率的な第三者検証の需要が増加していることから、効率的なテスト自動化ソリューション「ATgo」を展開する六元素情報システム株式会社と業務提携し、テスト効率化・コスト削減を実現するサービス提供を開始いたします。これにより、これまで以上に効率的かつ高品質な「マイグレーション+テストサービス」を提供し、マイグレーションでのコスト削減、ランニングコストの削減に貢献してまいります。

「ソリューション」は、独自のソリューションやサービスの提供による他社との差別化や機器・ライセンスの販売が増え、前年同期比23.5%増となりました。注力分野であるAIソリューションは前年同期比60%増と拡大しました。新たなラインナップとして、株式会社CXJの提供する高品質なCitrix製品を活用した仮想化ソリューションやHmcomm株式会社との協業による異音検知AIソリューション「As Prophetter」の提供を開始しました。また、株式会社コンカーとのパートナーマネージドクラウド（PMC）契約によりConcur Standardライセンスと独自の連携ソリューションを一括して提供することが可能となりました。

長崎大学との産学共同による慢性疼痛治療AIソリューションの研究開発等、新たなソリューションの開発にも継続して取り組んでおります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は7,387,389千円（前年同期比3.0%増）、売上総利益は1,670,408千円（前年同期比1.7%増）となりました。定期昇給とベースアップ、住宅手当支給期間延長など福利厚生を拡充した一方で業務効率化を進め、販売費及び一般管理費は735,952千円（前年同期比1.4%減）となりました。これにより営業利益は934,455千円（前年同期比4.3%増、営業利益率12.6%）、経常利益は944,178千円（前年同期比2.7%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は見積実効税率の上昇により法人税が増加したことから628,900千円（前年同期比5.1%減）となりました。なお、第4四半期において投資有価証券の売却による特別利益の計上を予定していることから、当連結会計年度における親会社株主に帰属する当期純利益は前年同期比増となる見込みです。

なお、当社グループは情報サービス事業並びにこれらの付帯業務の単一セグメントのため、セグメントごとの記載はしておりません。

当第3四半期連結累計期間における事業のサービスライン別の売上高を示すと、次のとおりであります。

事業のサービスライン	売上高（千円）	構成比（%）	前年同期比（%）
業務系システム開発	4,933,468	66.8	101.0
IT基盤	1,078,060	14.6	92.3
ソリューション	1,375,860	18.6	123.5
合 計	7,387,389	100.0	103.0

（2）当四半期の財政状態の概況

（資産）

当第3四半期連結会計期間末における総資産は6,088,935千円となり、前連結会計年度末と比較して435,501千円の増加となりました。これは主に、現金及び預金が増加した496,893千円増加、投資有価証券が111,327千円増加した一方、受取手形、売掛金及び契約資産が58,379千円減少、のれんが40,611千円減少したことによるものであります。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は1,486,831千円となり、前連結会計年度末と比較して63,833千円の増加となりました。これは主に、未払費用が255,767千円増加、買掛金が37,286千円増加した一方、賞与引当金が147,284千円減少、未払法人税等が81,371千円減少したことによるものであります。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は4,602,104千円となり、前連結会計年度末と比較して371,667千円の増加となりました。これは主に、利益剰余金が287,794千円増加、その他有価証券評価差額金が77,239千円増加したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2025年7月15日の「2025年9月期連結業績予想上方修正のお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,095,660	2,592,554
受取手形、売掛金及び契約資産	1,889,463	1,831,084
商品	2,827	2,327
前払費用	59,146	76,426
その他	8,121	6,828
貸倒引当金	△2,341	△2,253
流動資産合計	4,052,879	4,506,967
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	55,536	55,536
減価償却累計額	△12,930	△15,837
建物及び構築物（純額）	42,605	39,699
器具及び備品	50,136	54,925
減価償却累計額	△31,049	△38,260
器具及び備品（純額）	19,086	16,664
土地	10,347	10,347
有形固定資産合計	72,039	66,711
無形固定資産		
ソフトウェア	43,247	38,538
ソフトウェア仮勘定	3,800	13,566
のれん	316,068	275,457
顧客関連資産	352,775	325,162
その他	429	420
無形固定資産合計	716,321	653,145
投資その他の資産		
投資有価証券	418,893	530,221
長期前払費用	70,709	48,589
繰延税金資産	98,962	64,873
敷金及び保証金	143,408	138,207
保険積立金	76,546	76,546
その他	3,673	3,673
投資その他の資産合計	812,193	862,111
固定資産合計	1,600,555	1,581,968
資産合計	5,653,434	6,088,935

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2024年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	351,629	388,916
1年内返済予定の長期借入金	7,740	7,233
未払金	160,583	178,713
未払費用	8,774	264,542
未払法人税等	232,086	150,715
未払消費税等	130,956	110,327
契約負債	6,598	18,222
預り金	46,086	53,008
賞与引当金	298,967	151,683
役員賞与引当金	11,740	9,080
その他	546	799
流動負債合計	1,255,709	1,333,242
固定負債		
長期借入金	30,304	25,006
退職給付に係る負債	14,958	16,109
繰延税金負債	122,025	112,473
固定負債合計	167,287	153,588
負債合計	1,422,997	1,486,831
純資産の部		
株主資本		
資本金	908,446	908,446
資本剰余金	794,386	796,409
利益剰余金	3,212,165	3,499,959
自己株式	△803,404	△798,845
株主資本合計	4,111,594	4,405,971
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	108,362	185,601
その他の包括利益累計額合計	108,362	185,601
非支配株主持分	10,480	10,531
純資産合計	4,230,436	4,602,104
負債純資産合計	5,653,434	6,088,935

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2023年10月1日 至 2024年6月30日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2024年10月1日 至 2025年6月30日）
売上高	7,168,899	7,387,389
売上原価	5,527,154	5,716,981
売上総利益	1,641,744	1,670,408
販売費及び一般管理費	746,093	735,952
営業利益	895,651	934,455
営業外収益		
受取利息	13	961
受取配当金	7,452	8,891
貸倒引当金戻入額	994	—
助成金収入	18,196	10,000
保険解約返戻金	63	—
雑収入	584	496
営業外収益合計	27,303	20,349
営業外費用		
支払利息	555	313
株式報酬費用消滅損	2,635	9,695
雑損失	265	616
営業外費用合計	3,456	10,625
経常利益	919,498	944,178
税金等調整前四半期純利益	919,498	944,178
法人税等	254,638	314,093
四半期純利益	664,859	630,085
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,068	1,184
親会社株主に帰属する四半期純利益	662,790	628,900

（四半期連結包括利益計算書）

（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2023年10月1日 至 2024年6月30日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2024年10月1日 至 2025年6月30日）
四半期純利益	664,859	630,085
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	39,334	77,239
その他の包括利益合計	39,334	77,239
四半期包括利益	704,194	707,324
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	702,125	706,139
非支配株主に係る四半期包括利益	2,068	1,184

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（セグメント情報等の注記）

当社グループは、ソフトウェア開発を中心とした情報サービス事業並びにこれらの付帯業務の単一セグメントのため、記載を省略しております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 （自 2023年10月1日 至 2024年6月30日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2024年10月1日 至 2025年6月30日）
減価償却費	59,523千円	55,468千円
のれんの償却額	40,611	40,611